



第 958 号 ミニかわら版

令和 7 年 12 月 1 日
(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

ヤマダ総合公認会計士事務所
代表 山田良平

〒124-0012
東京都葛飾区立石 1-12-11 ヤマダビル
TEL:03-3694-6091
FAX:03-3691-6680

指摘事項540億円超 令和6年度決算検査報告

会計検査院は、日本国憲法第90条の規定により、令和6年度(2024年度)の国の収入・支出の決算を検査し、会計検査院法第29条の規定に基づいて「令和6年度決算検査報告」を作成し、令和7年11月5日に内閣へ送付しました。報告書は決算に添付して国会に提出され、国会の決算審査の重要な資料として利用されます。

今回の報告によりますと、検査対象は一般会計、特別会計、政府関係機関の収入・支出決算などであり、検査結果として掲記された事項は319件、指摘金額は合計540億8,151万円件数、金額いずれも前年度を下回りました。

省庁別の指摘金額では、経済産業省が220億5,880万円で最も多く、次いで厚生労働省が37億5,206万円、国土交通省が19億6,328万円、防衛省が14億5,729万円、環境省が12億2,475万円、外務省が11億7,749万円、農林水産省が10億6,311万円となっています。

独立行政法人などに関する指摘もあり、中小企業基盤整備機構が121億1,071万円、国際協力機構(JICA)が47億4,250万円、経済産業省所管の新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が民間委託した研究や調査に対して不要と判断された政府出資金等の指摘28億5,512万円などです。

法令違反や不適切な予算執行などと認定した「不当事項」は271件、その指摘金額は約86億円で、医療福祉分野で自治体や利用者の制度理解が不十分な事例が目立ったほか、虚偽の申請で過大に財政支援を受けた事業者もいました。

この報告書は、会計検査院の公式ウェブサイトで公開されており、詳細な検査結果や省庁別の指摘内容を確認することができます。

*詳細は以下の資料をご覧ください

「令和6年度決算検査報告(会計検査院)」令和7年11月5日

https://www.jbaudit.go.jp/report/new/all/pdf/fy06_zenbun.pdf

